

## ★胸部X線検査とは

X線写真では肺などX線が通りやすい場所は黒くうつり、骨や心臓などX線が通りにくい場所は、白い陰影で写しだされます。

単純な検査ですが、肺や心臓、肺の間にある縦隔などの病気について、様々な情報を得ることができますので、幅広く行なわれています。

当会では、最新のデジタルX線装置を使用し精度の高い検査をめざしております。さらに、検査後の読影には専門医2名によるダブルチェックを行い有所見者の見落としの無いように対応させていただいております。

## ★胸部X線検査でわかる病気

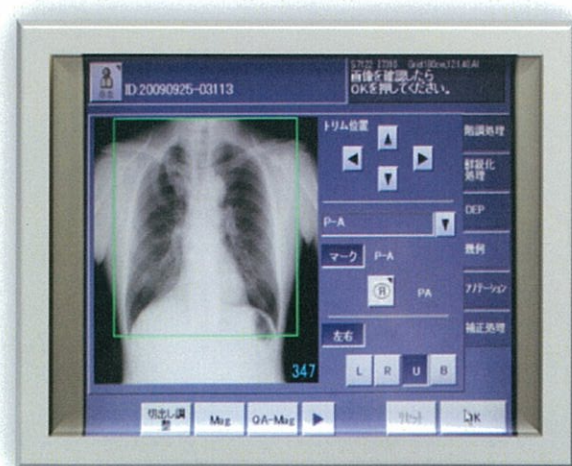
この検査でわかる代表的な病気は肺がん、肺結核、肺炎などの肺の病気です。また、肺といっしょに心臓病や大動脈の病気、気管支、食道などの病気のほか、肋膜(ろくまく)や横隔膜(おうかくまく)のようすなどもわかります。

## ★検査方法

検査はX線検診車（レントゲン車）で行います。撮影装置に胸を押し付けて、息を十分に吸ったところで息を止め、背中からX線を照射します。

検査時間は数分です。

## デジタルX線装置搭載車



## ★注意事項

- ・上半身に金属、プラスチックやネックレスの無いように準備してください。
- ・ボタン、金属などの無いシャツ1枚になっていただきます。
- ・妊娠、またはその可能性のある方は検査を受けることはできません。